

参加費
無料

3Dデータ活用で

再び考える

～モノづくりの設計と製造～

セミナー

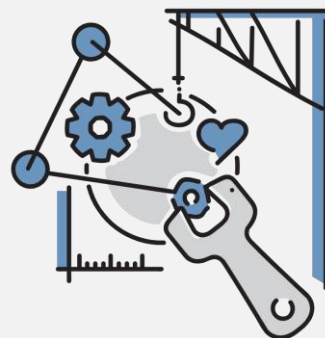
製造業における競争力の源泉は、単なる設計力や製造力ではなく、情報のつながりと一貫性へとシフトしています。

その中心にあるのが「3Dデータ」です。

3Dデータはもはや単なる形状情報ではなく、設計意図・製造要件・品質情報を内包する“共通言語”としての役割を担っています。

本ウェビナーでは、製品やツールの違いを超えて共通する観点として、

「3Dデータを起点に、設計から製造までを一気通貫でつなぐ」という考え方に着目します。設計情報のデジタル化、工程への展開、そして現場における活用方法をご紹介します。



セミナーの見どころ

設計された
3Dデータは
どのように
活用されるの？

3Dモデルが
内包する
情報って？

設計～製造の
生産性向上を
どのように
実現できるの？

2026 8.5 Wed. 14:00 - 15:25

開催場所

オンラインセミナー

お申し込みは
こちらから



主催

伊藤忠テクノソリューションズ株式会社

タイムテーブル

14:00 - 14:05

オープニング

14:05 - 14:30

工程設計の“見えないリスク”を可視化！

DELMIAによる事前検証で前倒し解決！

3DEXPERIENCE DELMIA



3DEXPERIENCE製品
CTCサイトはこちら▼



量産前の設備搬入後、試運転の段階になって初めて

「干渉」「安全性」「想定外のボトルネック」といった問題が顕在化し、手戻りや立ち上げ遅延につながる

——こうした“見えないリスク”にお悩みではありませんか。

本セミナーでは、これらのリスクを3D上で可視化し、

実生産前に検証・対策する進め方と実践のポイントを整理します。

短い検討期間でも、設備・人員・バッファを定量的に判断し、

レイアウト案の比較や工程能力の検証を進めるための具体的なアプローチをご紹介します。

生産技術・工程設計・設備計画に携わり、

手戻りを減らしながら確度の高い意思決定を行いたい方におすすめです。

14:30 - 14:55

図面はなくなる、でも減らせる

～SOLIDWORKS MBDで広げる3Dの役割～

SOLIDWORKS MBD



SOLIDWORKS製品
CTCサイトはこちら▼



3D CADが普及した現在も、設計情報の多くは2D図面に依存しています。

本セミナーでは「図面の完全廃止」ではなく、

「2Dに頼る割合を段階的に減らす」という現実的なアプローチを提案します。

MBDの基本概念から、SOLIDWORKS MBDによる3D定義の具体像、

PMI (Product and Manufacturing Information) の付与方法や

3DA (3D Annotation) の活用、関連規格 (ISO/JISの幾何公差・寸法公差)

の考え方を交えて、実演デモとともに導入時の留意点まで整理します。

2Dが適している領域はそのまま残しつつ、3Dで置き換えられる部分を見極め、

自社に合った最適なバランスを探るための判断材料を提供します。

14:55 - 15:20

出来栄見える化による量産試作の金型トライ回数減を実現

～新製品「3DWorks」のご紹介～

3DWorks

金型トライ回数増加によるコスト上昇・開発期間の長期化の課題をご支援する3DWorksについてご紹介します。

15:20 - 15:25

クロージング

本セミナーや3DEXPERIENCE製品、SOLIDWORKS製品、3DWorks製品に関するお問い合わせは下記までご連絡ください

お問い合わせ先

伊藤忠テクノソリューションズ株式会社
産業ビジネス開発第2本部 PLM技術部

E-mail : plm_products@ctc-g.co.jp

